

尚絅学院大学 地域連携交流プラザ
クリスマスイベント企画

ピカボード展示会

期間：12/9(水)～12/27(日)

場所：① イオンモール名取 3階なとりコート

② 尚絅学院大学 地域連携交流プラザ (イオンモール内3階)

※ 講座中は見学ができません。詳細は尚絅学院大学のHPをご確認ください

2か所で同時開催！！
ぜひお立ち寄りください～♪



ピカボードとは？

～面配線型簡易接触電光ボード～
LED(発光ダイオード)をボードのどの位置に挿してもハンダ付けせずにLEDを発光させることができる画期的なシステムで、導電体を3枚の発泡スチロールでサンドイッチしたものです。

1998年に 尚絅学院大学で発明

名取の活性化のために尚絅学院大学の阿留多伎真人教授が発明しました。ピカボードで使用できるLEDは消費電力の少ない発光ダイオードで、赤・橙・黄・黄緑・緑・白・桃・青・紫の9色です。

特許情報

★発明の名称
表示装置、表示装置用多層構造体および表示装置用発光ダイオード
★出願番号
特許2000-378592
(P2000-378592)

《ピカボード発明者紹介》

阿留多伎 真人 (あるたき まこと) 尚絅学院大学総合人間科学系 理工・自然部門 教授



仙台出身・仙台在住。
1980年 住宅・都市整備公団で筑波研究学園都市や首都圏近郊で都市づくりに従事。
1991年 尚絅学院短期大学(現尚絅学院大学)に勤務
1999年 名取市のまちづくりグループ リバイブ名取21設立に参加。
1999年 商店街活性化のためにピカボードを発明。
毎年名取市の増田公民館前(現増田防災広場)で「光のストリートアート展」をプロデュース。
新素材の採用、LEDの形状、LEDの発光色、点滅トランスの製作等の改良を重ねる。
これまでにイオンモール名取、名取市内ほか宮城県内外各地でピカボードの展示を行っている。

【お問い合わせ】 地域連携交流プラザ 022-381-1490